

# Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



U021-07

会場:304

時間:5月24日 11:05-11:25

## 噴火警戒レベルの運用における防災機関との連携 Cooperation with disaster prevention organization in operation of Eruption Alert Level

山里 平<sup>1\*</sup>

Hitoshi Yamasato<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 気象庁

<sup>1</sup>JMA

気象庁は、主な活動的な火山について、防災行動に直結する「噴火警戒レベル」を発表している。レベルの設定やその運用においては、噴火シナリオや火山防災マップを基礎とし、地方自治体の地域防災計画と連携したものとなっている。これらの運用においては、各火山における自治体や砂防部局、火山学者や気象庁等からなるコアグループが重要な役割を果たしている。コアグループは、平常時は防災計画等の策定や改善に係るとともに、噴火時等は、応急対策の推進等において重要なメンバーとして、対策本部等をリードしていくこととなっている。

2011年1月からの霧島新燃岳噴火においては、気象庁は、レベルの引き上げ、切り替えによって、規制区域の拡大を自治体へ助言してきた。そこでいくつか明らかになった問題点等についても講演で触れる。

キーワード: 火山防災, 噴火警戒レベル, 気象庁

Keywords: volcanic disaster prevention, eruption alert level, Japan Meteorological Agency